

## 令和4年度 座間養護学校不祥事ゼロプログラム

座間養護学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

### 1. 実施責任者

- 校長 : プログラムの実施責任者として、すべての指揮にあたる。  
副校長・教頭・事務長 : 校長を補佐し、不祥事防止会議等の指揮にあたる。  
総括教諭 : 校長・副校長・事務長を補佐・補助する。  
全職員 : プログラムの実行の主体となり、不祥事の防止に努める。

### 2. ゼロプログラムの企画・推進と検証

不祥事ゼロプログラムの企画・検討は、不祥事防止会議（企画会議）で行う。

### 3. 策定の方針

- ①実効性・継続性のある取組みを実施し、不祥事の未然防止を図る。
- ②職員一人ひとりが自分の問題であると意識できる取組みにする。
- ③取組み課題に基づく研修を実施し、不祥事防止意識の向上を図る。

### 4. 目標及び行動計画

項目	目標	行動計画	実施方法
1. 法令遵守意識の向上（わいせつ事案等公務外非行防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	・わいせつ事案等公務外非行の防止を徹底する。 ・円滑なコミュニケーションを工夫する。	・不祥事防止研修会等でわいせつ事案等公務外非行を注意喚起し、公務員としての規律・義務を周知し、サービスの徹底を図る。 ・職員同士のコミュニケーションが活発な、風通しの良い職場づくりを推進する。	不祥事防止研修
2. 職場のハラスメント行為（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	・児童生徒や職員の人権を守り、適切な指導の徹底を図る。	・職場の連帯感を高め、職場のハラスメント行為（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）を許さないという環境整備に努める。 ・職員研修など人権を意識する機会を増やす。	不祥事防止研修
3. 体罰・不適切な指導の防止	・児童生徒の実態をおさえた、体罰によらない適切な指導を徹底する。 ・児童生徒の人権を尊重した指導を実施する。	・自己チェックを実施に、人権を尊重した指導を徹底する。 ・同僚性を高め、体罰を許さないという環境整備に努める。 ・体罰や不適切指導防止に関する事故防止会議、不祥事防止研修会等を実施する。	不祥事防止研修

4. 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	・個別教育計画や進路関係書類、入学選抜に関する書類等を適切に管理する。また誤配付など事故防止を図る。	・啓発資料や事例により、チェック体制を機能させることの重要性を周知する。 ・取扱者、管理者間で、書類の流れ等管理の仕方をチェックする体制を整える。	情報セキュリティ研修
5. 個人情報の管理、情報セキュリティ対策	・個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、情報の流れを把握して、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する。	・研修会を実施し個人情報管理の規則遵守を徹底する。 ・情報持ち出しにおける校内ルールを徹底する。 ・扱う情報を最小限とするなど普段からの取組みを促す。	不祥事防止研修会
6. 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運防止、交通法規の遵守	・交通法規を遵守し、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を徹底し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。	・職員啓発資料等をもとに、交通事故等の防止に向けた研修会を実施する。 ・軽微な違反もしないという高いコンプライアンス意識を醸成する。	不祥事防止研修会
7. 私費会計に係る事故防止	・現金での扱いを極力なくし、適正な執行により、会計に係る不祥事を防止する。	・会計事務にかかる諸規程の遵守、予算の計画的な執行及び複数による確認等の徹底により、不適正経理を防止する。 ・会計システムを見直し、事故のない扱い方を確認する。 ・口座決済を進め現金の取り扱いをしない。	不祥事防止研修会
8. 人権意識の向上	・人権意識を高める	・人権研修会等を実施し、具体的な場面をもとに、人権についての考えを深める機会を得る。	人権研修会

## 5. 所属における取組

① 不祥事防止会議

② 不祥事防止研修

・月例研修：全体会・学部会・室会（職員会議後）、校務グループ会

・臨時研修：緊急性の高い情報の伝達等必要に応じて実施

③ 個別面談